

### 令和5年度施政方針について

佐久間 儀郎



**〔質問〕**(仮称)白石中央スマートインターチェンジとその周辺整備事業の効果を最大限享受できるようにするには、国道4号の4車線化延伸が不可欠である。

**〔答弁〕**(市長)これまでの4車線化延伸要望活動と、事業実現の見通しなど現在の状況を伺う。

**〔質問〕**(市長)令和4年度に、計画段階評価を進めるための調査を行う区間の指定を受け、調査を進めている。

東北地方整備局では、本年2月1日に、社会資本整備審議会道路分科会の東北地方小委員会が開催され、国道4号白

石市斎川から大平森合

区間の地域課題等の調査状況の報告や、今後行う予定の市民や企業等のアンケートの実施方法等について意見をいただいております。新規事業化に向けて前進しているものと、関係機関の皆様にご感謝している。今後も4車線化事業に向け、引き続き要望活動を行うとともに、関係機関と連携し、国の調査への協力も行ってまいります。

**〔質問〕**(仮称)白石中央スマートインターチェンジ周辺に整備する「道の駅」と「スポーツ・レクリエーション拠点施設」に

地域の防災拠点としての機能を持たせることで、地域の安全・安心を高めるとしているが、具体設計を伺う。

**〔答弁〕**(市長)道の駅およびスポーツ・レクリエー

ション施設は、立地条件を生かし、自衛隊、警察、消防など、宿营地復旧のための資機材や生活物資の集積地となる地域防災拠点機能を有する施設の整備を計画している。加えて近隣住民の指定避難所のほか、他の指定避難所が被災し、使用できない場合などの代替避難所、道路利用者などの帰宅困難者の一時避難所としても活用できる施設整備を予定している。

具体的な例として、避難スペースや自衛隊などの集結活動エリアの確保、防災備蓄倉庫や非常用電源、マンホールトイレなどを設置。必要な施設や規模については、PFI事業者募集の際の要求水準書に明示し、具体的な配置計画や設備についての実施計画は、PFI事業者が決まってから行う予定としている。

### 令和5年度施政方針について

高子 秀明



**〔質問〕**子ども医療費助成における助成対象年齢拡大の検討と学校給食費無償化に向け、宮城県市長会が国・県に対し財政支援の要望書を提出した後の問いかけについて、今後の取り組みを伺う。

**〔答弁〕**(市長)子ども医療費助成制度は、本市も18歳までに拡大し助成を行えるよう、既に検討しているが、事業費を試算したところ約2千万円程度が見込まれることから、財源確保に苦慮し、実現には至っていない。国において、全国一律の子育て支援制度として充実させるべきと考える。宮城県市長会等を通じて国に働き

かけを続けていく。

また、学校給食費無償化に取り組む自治体があることは認識しているが、学校給食法第11条で、設置者負担と規定される学校給食センターの人件費や設備修繕費、運営費に加え、原則として保護者負担と規定される児童・生徒の給食に係る食料費、1億3千400万円余りを市単独で継続的に負担していくことは、財源確保の見通しが立たない現状では難しいと考える。学校給食費の無償化は、国の施策として行うべきであると考える。宮城県市長会から財政支援と経費負担を規定する学校給食法の改正について、国に対し要望を続けていく。

**〔質問〕**(仮称)白石中央スマートインターチェン

ジ周辺整備事業の道の駅の機能のうち、本市名産品や物産販売コーナーも整備されるが、その際、おもしろい市場との競合が懸念される。当該2施設において、農産物等の販売に差別化が図られるのか、構想を伺う。

**〔答弁〕**(市長)物販施設やレストランについては、おもしろい市場との差別化を図りながらも、連携も必要であると考える。具体的な運営について、

道の駅とスポーツ・レクリエーション施設において、民間のノウハウを最大限生かすため、PFI手法で事業を進める予定であるため、事業者募集の際の要求水準書に、おもしろい市場との差別化と連携について明示し提案を求め、プロポーザル等において総合的に優秀な事業者を選定したいと考える。